編集・発行　熊谷市人権教育推進協議会

# 熊谷 人権教育ニュース

第41号
令和８年
10月31日

## 助け合おう　ぼくの手きみの手　みんなの手

標語　　吉見小学校5年　小島 陽聖さん

### 令和８年７月２日（木）
### 熊谷市人権教育推進協議会 総会


須藤 一郎　会長


渋谷 昌美　教育長





小林 哲也　市長


影山 琢也　議長





### 7月21日（火）熊谷うちわ祭
### 人権啓発物品を配布しました！



© 熊谷市

2ページ▶総会報告／会長挨拶
【特集】こどもを守る新しい法律と「こまもろうマーク」
3ページ▶人権教育研究委嘱校　取組紹介（熊谷東中学校）
【特集】「年齢で決めつけていませんか？」～ねんりんピックとエイジズム
4ページ▶人権啓発DVDライブラリー

## 人権教育の充実を目指して ～総会報告～

令和8年度熊谷市人権教育推進協議会の総会が、7月2日（木）大里生涯学習センターあすねっとにおいて、小林市長、影山市議会議長、渋谷教育長を来賓としてお迎えし、105名の委員の出席のもと開催されました。

○令和8年度役員

会長　須藤　一郎（社会教育委員会議委員長）
副会長 高柳　明子（中条小学校長）
副会長 福田　勝美（熊谷市議会議員）
副会長 堀越　奈緒美（社会福祉協議会事務局長）
監事　岩田　秀夫（公民館運営協議会連合会副会長）
監事　根本　恵美子（中条中学校長）

○令和8年度事業計画

1 事業推進上のねらい

（1）啓発活動と研修会を各地域、各団体等に拡大し積極的に推進する。
（2）専門委員会を核として、諸事業を推進する。
（3）人権教育関係機関、団体等との連絡調整を図る。

2 事業計画

（1）資料専門委員会（人権作文集「じんけんくまがや　第21集」の編集と発行）
（2）広報専門委員会（「熊谷人権教育ニュース」第41号、42号の編集と発行）
（3）調査専門委員会(第21回意識調査の実施とまとめ)
（4）事業専門委員会
① 地域研修会（各地域公民館での人権教育研修）
② 啓発活動（啓発品の作成と啓発活動）
③ ハートフルセミナー
「人権問題研修会・指導者養成講座」の開催(全3回)
(5) 同和教育部会
(同和教育の推進と各専門委員会事業の連絡調整)
※総会終了後の研修会では、人権啓発DVD「君の景色を知ったとき」を視聴しました。
また、第1回の各専門委員会及び同和教育部会を開催し、今年度事業について協議をしました。

## すべての人が大切にされる社会を目指して

熊谷市人権教育推進協議会　会長　須藤 一郎



熊谷市人権教育推進協議会の会長を、引き続き務めます須藤一郎です。微力ながら皆様のご協力によりまして、協議会を運営してまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

本協議会は、資料・広報・調査・事業の4つの委員会と同和教育部会で構成されています。各部会とも積極的に活動し、着実に成果を上げております。

さて、私は、皆さんに話をさせていただく時の資料の表題は、いつも『暮らしの中の人権感覚』としています。これは、私たちの身近な生活の中から人権問題に気づく感覚（感性）を身につけることが大切だからです。

その例を今回は、令和7年度に発行された、児童・生徒人権作文集「じんけんくまがや」第20集の中学生の作品の抜粋から紹介します。

この生徒の豊かな感性は、学校の中だけで育まれたものではありません。家庭の中で芽が出た感性が、学校の中で育てられ、仲間や地域社会の中で花が咲くものです。この中学生のような人権感覚が、人権問題を解決するための基盤になると考えます。

### ゲームの中のいじめに気付いた私

令和7年度児童生徒人権作文集「じんけんくまがや」第20集より（抜粋）

私はゲームが好きだ。特に、友達と一緒にオンラインで協力しながら遊ぶゲームが楽しい。そんなゲームの世界で、私は人権について考えることになるきっかけに出合った。

ある日、いつものように友達とチームを組んで遊んでいると、見知らぬプレイヤーがチームに加わった。その人は、操作に慣れていない様子で、チームの動きにもついていくことができなかった。間違った場所に行ってしまったり、ルールをよく分かっていないような行動を取ったりしたために、試合に負けてしまうことが何度かあった。

すると、友達の一人がチャットで「まじで下手すぎ。」「何してんの。」と強い言葉でその人を責めはじめた。他の子も「これはわざと。」「足引っ張ってるだけじゃん。」と笑いながら同じような言葉を続けた。

私は何も言えなかった。ただ、その場の空気に流されて、止めることもせずに黙っていた。すると、そのプレイヤーは、何も言わずに試合の途中でゲームを抜けてしまった。その後も何日か遊んでみたけれど、その人がまた現れることはなかった。

私は、そのことがずっと心に残っていた。「ただのゲームだし、仕方ないよね。」と思おうとしたけれど、本当にそうだったのか、自分の中で答えが出なかった。そしてある日、その人のプロフィールを何気なく見てみた。そこには、たった一言だけメッセージが残されていた。「楽しく遊びたかっただけなのに、ごめんなさい。」その言葉を見たとき、私は胸がギュッと締めつけられるような気持ちになった。きっと、あの人も私たちと同じように、楽しく遊びたくてゲームに参加しに来たのだ。それなのに、少し慣れていなかっただけで責められ、笑われ、何も言い返せないまま姿を消してしまった。

私は、ゲームの中にも人権があると思う。人権とは、人が人らしく生きるための当たり前の権利。そして、相手の気持ちを思いやることも、その一つだと思う。ゲームの中だからこそ、言葉を選ぶこと、相手を大切にすることを忘れてはいけない。

もし、また誰かが傷ついている場面に出合ったら、今度こそ私は声をあげたい。「それは違うよ。」と勇気を出して言いたい。そう思わせてくれた、あのときのプレイヤーの言葉を、私はきっと一生忘れない。

## こどもを守る新しい法律と「こまもろうマーク」

令和８年12月25日、**「こども性暴力防止法」**※が施行されます。
この法律は、学校・保育所・学習塾・スポーツクラブなどの子どもと関わる事業者に対し、次の取組を義務付けます。

■性犯罪歴の確認:職員採用時に性犯罪前科の有無を確認（日本版DBS）
■安全確保措置:被害の早期把握のための面談・相談体制の整備
■防止措置:性暴力のおそれがある場合の配置転換など

※正式名称：学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律

### 「こまもろうマーク」とは

「こども性暴力防止法」に基づき、子どもの安全を守るための取組を実践している事業者が掲示するマークです。「こどもをまもろう・みんなでまもろう」という思いを込めて名付けられ、大きな瞳で子どもを見守るフクロウがモチーフです。



法定事業者マーク



認定事業者マーク

⚠注意⚠

こまもろうマークは、法律の施行（令和8年12月25日）後に認定を受けた事業者のみが掲示できるマークです。このマークが広く普及し、すべてのこどもが安心して過ごせる環境が整うよう、制度の周知・普及にご協力をお願いします。

出典:こども家庭庁

令和７・８年度人権教育研究委嘱校の実践

# 「自他を大切にし、つながりを実感する人権教育の推進」

熊谷市立熊谷東中学校

## ①研究の流れ

本校では、熊谷市教育委員会から人権教育の研究委嘱を受け、令和７・８年度の2年間にわたり研究を進めてきました。学校教育目標「正しい判断力とたくましい実践力をもった優しい生徒」の実現に向けて、互いに高め合える授業を実践することにより、つながりを実感しながら学習に参加する機会をふやす取組を進めてきました。

## ②研究の具体的な実践

（１）学び合い活動部
- ○学び合い活動（マナビーム）の活用
- ○授業スタイルの統一（聞き方、伝え方の型）

（２）つながり部
- ○人間関係づくり
- ○ＳＳＴ※等の学活での効果的な活用

（３）環境・調査部
- ○校内アンケート調査の実施・分析
- ○全国学調・過年度の実態との比較・分析
- ○アンケート結果を活用した啓発活動

※SST＝ソーシャルスキルトレーニング
さまざまなプログラムを通じて対人関係など社会生活に必要なスキルを学んでいく支援のこと

## ③研究の成果と今後の課題

研究の中で、熊谷東中としての授業スタイルを工夫することや、学習環境・教室環境を統一する取組を進めました。また、生徒の自他を大切にするためのプログラムへ取り組みました。

アンケート調査を分析すると、研究を通じて生徒の自己肯定感や他者尊重の意識が高まり、難しい課題にも挑戦する姿勢が育まれたという結果が読み取れます。

本研究の成果を基に、今後も「わかる授業」と、「つながりを感じられる学校生活のありかた」を大切にした取組を続けていきます。



# 年齢で決めつけていませんか？

## ～ねんりんピックとエイジズム～



第38回全国健康福祉祭埼玉大会
ねんりんピック彩の国さいたま2026
咲き誇れ！長寿と笑顔 彩の国
令和8年11月7日(土)～10日(火)

「もう年だから無理でしょ」「高齢者にスポーツは危ない」――こんな言葉を、聞いたことはありませんか？
これは**「エイジズム（年齢差別）」**の一例です。エイジズムとは、年齢に基づいた固定概念や偏見、差別のこと。
世界保健機関（WHO）は、エイジズムを人種差別や性差別と並ぶ重大な人権問題と位置づけています。

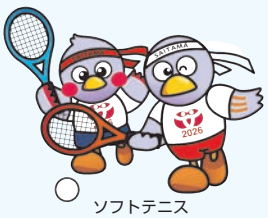
### ■身近に潜む「エイジズム」に気付こう

- 「もう年だからITは苦手」「新たな発想は無理だろう」という偏見
- 「その年でそんな挑戦は無理」と可能性を否定する。

上記のような何気ない言動や思い込みが、高齢者の尊厳を傷つけ、社会参加の機会を奪っています。
WHOは、エイジズムが健康・社会参加・雇用・尊厳のすべてに悪影響を与えると指摘しています。
**大切なのは、年齢ではなく、偏見や先入観を持たずに見ることです。**



ラグビーフットボール



ソフトテニス

### ■ねんりんピックが示す「年齢を超えた可能性」

今年11月、**「ねんりんピック彩の国さいたま2026」**が埼玉県内24市町で開催されます。60歳以上の方々が全国から集い、スポーツや文化・芸術の交流を楽しむこの大会は、**「年齢を重ねることは、可能性が広がること」**を示してくれます。

コートを駆け回る選手たちの姿は、エイジズムという偏見を打ち破る、力強いメッセージそのものです。まず、自分の中の「思い込み」に気付くことから始めてみましょう！

| 熊谷市で実施される種目 | 日 時 | 会 場 | 観覧方法 |
|---|---|---|---|
| 総合開会式 | 令和8年11月7日(土)<br>10時～12時半 | 熊谷スポーツ文化公園<br>陸上競技場 | 事前申込制・無料<br>※申込は終了しております。 |
| ソフトテニス | 令和8年11月8日(日)・9日(月) | 熊谷スポーツ文化公園<br>彩の国くまがやドーム(多目的運動場) | 入場自由・無料（申込不要） |
| ラグビーフットボール | 令和8年11月8日(日)・9日(月) | 熊谷スポーツ文化公園<br>熊谷ラグビー場（B・Cグラウンド） | 入場自由・無料（申込不要） |

詳しくはこちらから

ねんりんピック彩の国さいたま2026
熊谷市ホームページ

# 人権啓発 DVD ライブラリー

研修会や授業などにご活用ください！

## ありったけの勇気　小学生

子どもたちは「いじめは良くない・悪いことだ」と心の中では思っていても、「自分がいじめられるのでは？」という不安から、いじめる側に回ったり、見て見ぬふりをしたりしてしまうのではないでしょうか。

このドラマは、友達との関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにはお互い認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇気の大切さを教えてくれます。




## 虹のきずな　小学生 中学生

この作品では、差別に対する「傍観者」あるいは「無関心」という立場に焦点を当てています。

さまざまな問題を自分の問題として引き寄せて考えること、人と人がしっかりとコミュニケーションを取ること、お互いを一人の人として認め合うこと、自立した考えや行動を取ることの大切さを訴える内容です。




## SNS に潜む危険　高校生

子どもたちに起こりうる身近な事案を例に、インターネットを安全に利用するポイントを説明しています。３つの観点から、子供達でもわかりやすい表現で伝えていきます。

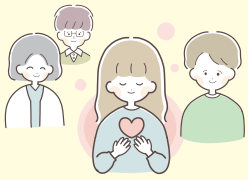






## 君の景色を知ったとき　大人

障害のある人や外国人、子供やお年寄りなど、多くの人にとっての「当たり前」に不便を感じる人がいることに気付くこと、そしてそれを人の力で支えあうことの大切さを描いたドラマです。






## 「無自覚」に気づく　企業

～誰もが当事者　職場のハラスメント～

職場のハラスメントは誰もが当事者になる可能性があり、「自分には関係ない」「自分は大丈夫」という思い込みが、ハラスメントの原因になることがあります。本作では、近年多発している事例を取り上げ、年齢・性別・立場も様々な人物を描くことで、自身の日ごろの言動を顧みることを促すドラマ教材です。




## 反対する理由　同和問題

結婚とは「両性の合意のみに基づいて成立」するものであると、憲法にも定められています。しかし、被差別部落出身者との結婚に関する差別意識は、現在も根強く残っている状況です。私たちの社会には、依然として家柄や出身などを重視する人がいて、こうしたことにこだわるものの見方や考え方が、部落差別（同和問題）を始めとする様々な差別を生む土壌となっています。このドラマは、実際に起きた複数の事例をもとに描かれています。




熊谷市ホームページにて貸出方法・全作品リストを公開しています。

貸出方法・作品リストはこちらから